

第6学年 地域創造学学習指導案

日 時	令和元年11月29日(金)
場 所	第6学年教室
学 級	第6学年22名
授業者	千葉 泰

1 単元名 「考えよう 私たちの町の未来」

2 単元について

(1) 題材について

これまでに、第1, 2ステージでは身近な事象を取り上げ、体験を通して地域の特色やよさについて学習してきた。また、第3ステージの第5学年では、町で重点としている産業の林業を取り上げ、その仕事の様子などについて探究を進めてきた。第6学年では調査の範囲を広げ、町の産業や行政の働きについて、自分なりに意味づけをしたり他の市町村と比較したりすることで考えさせていく。

本単元では、住田町の「町づくりの取組」を題材に取り上げて学習を進める。中でも取組に特色の見られる、農業、林業、子育て支援、観光、情報ネットワークに関わる取組に着目し、そのよさや現在の課題、これからの取組について探究する。本単元で扱う「町づくりの取組」は、児童の生活にも関わっており、関心をもって調査することや、そのよさを改めて感じることができる題材である。

第1単元で住田町は人口が減り続けていることを知り、その解決に向けた住田町の取組について学習してきた。本単元では、それぞれの取組に課題があることや課題解決に向けたこれからの取組について学習する。住田町をよりよくしようとするために様々な努力をしていることを学んだり、携わる人たちの思いを知ったりすることにより、地域への愛着を深め、住田町の未来に対する自分の思いを広げていくように学習を進めていく。

(2) 児童について

6学年の児童は、地域創造学やその他の教科等での学習、日常生活での体験などから住田町のよいところを挙げることができる。調査活動においては、地域の方にインタビュー等の調査活動を行い、話を聞き、メモを取りながら書きまとめることができる。それ以外にも、ICTの技能を使って検索をしたり、画像を添付した資料作成したりする技能を身に付けている。話し合いを中心としたペア・グループ活動では、普段の学習でも多く取り入れており、素早く取りかかることができる。今年度は対話を指導の重点に置き、友達の話聞いた後に質問をしたり、自分の考えを伝えたりして学習を深める姿が見られるようになってきている。調べた結果については、発表する相手や目的を考えて発表の方法を検討したり、発表練習を行い、互いに聞きあって改善したりして発表会を開くことも経験してきている。

一方で、受け身で学習に臨む様子も見られ、表面的な理解にとどまることが多く、確かな根拠や明確な理由を示しながら説明することについては不十分な面が見られる。また、事象について新しい価値を見出すことや、自分の思いを広げることも十分ではなかった。それらの改善に向けて、主体的に探究する態度を育てることが大切であると考えている。

(3) 指導にあたって

本校では、地域創造学において主体的・対話的・探究的な学びを通して「地域に愛着をもち、進んで地域に関わる児童の育成」を目指している。

本単元においては、主体的に学ぶことができるようにするために、学習の目的やゴールを明確にするとともに、ポートフォリオを活用して、次時の学習課題や探究の進捗状況を明らかにしながら、自ら探究活動を行えるようにしていく。対話的な学習にあたっては、探究テーマごとにグループで各取組の課題やこれからの取組の意味について話し合ったり、調査の際に地域の方との対話により調査したりして学習を進めていくことができるようにする。探究的な学びとしては、まず、事実に基づいて町づくりの取組に対する考えをもつことができるようにするために、調査の視点を明らかにして必要な情報の収集を行うことができるようにする。そのうえで、理由付けや根拠を明確にして、町づくりの取組の目的やよさを考えながら探究活動を進めさせていきたい。その際、言語活動については、国語の学習で学んだ意見交流の仕方や相互評価などを積極的に取り入れていく。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の目標
社会的実践力	A【地域理解】	・住田町の町づくりの取組の課題やこれからの取組、携わっている人たちの思いについて理解することができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	・町づくりの取組の課題やこれからの取組を調べ、その意味について考えたり、住田町の町づくりについて自分の思いを表現したりすることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	・互いに意見を出したり様々な考えを受け止めたりして、これからの町づくりについて協力しながら調べたり、考えたりすることができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	・町づくりの取組の課題やこれからの町づくりについて、自分の探究の様相を振り返ったり調整したりして探究することができる。

(2) 評価規準

資質能力		評価規準	
A ◎地域理解	【地理】	・事実に基づきながら町づくりの取組の課題や解決に向けた取組のよさを理解し、携わっている人たちの思いを考えている。	
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・住田町の町づくりの取組の課題やこれからの取組についての探究の見通し、計画を予想などをもとにしながらか考えている。
	2 ☆多面的・多角的に考える力	【☆多】	・住田町の町づくりの取組の課題やこれからの取組について多面的・多角的に捉え、その意味を考えている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・住田町のこれからの町づくりについて、調査に基づいて自分の願いを発信している。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・それぞれの町づくりの取組の課題やこれからの取組に関心をもち、積極的に探究している。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・町づくりの取組についての探究活動がうまくいかないときも、粘り強く、最後まで取り組もうとしている。
C 人間関係形成に関する力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・町づくりの取組について調査したことや町づくりに対する願いについて、質問をしたり意見をしたりして伝え合っている。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・町づくりの取組をまとめ、自分たちの願いを発信するために、友達と検討を重ねたり自分の役割を果たしたりしている。
	3 ★他者受容	【★受】	・町づくりに携わっている方や友達の考えの理解に努め、相手の思いを尊重しようとしている。
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じとる力	【☆感】	・町づくりについての学習活動を振り返りながら調整して探究し続け、理解を深めようとしている。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・町づくりについての自分の考えを感性や創造性を発揮しながら工夫して表現している。

	3★自己肯定感	【★肯】	・住田町の町づくりの取組についての探究活動を進めることができたことに自信を深め、今後の学習に生かそうとしている。
--	---------	------	--

4 単元の指導（本時 第15時／全27時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目（評価方法）
10	住田の町づくりの取組の課題	現状把握	2	・これまでの学習をもとに、住田町の町づくりの取組の課題について考える。	【国語】 「未来がよりよくなるために」	・B2☆多面的・多角的に考える力（振り返りの記述）
		情報収集	2	・町役場の方から話を聞く学習会を開き、現在の町づくりの取組の課題を調べる。		・A ◎地域理解（ワークシートの記述） ・C1☆伝え合う力（チェックリスト）
		実施・改善	1	・町づくりの取組の課題について、分かったことをポートフォリオにまとめる。		・D1☆感じ取る力（ポートフォリオの記述）
	課題設定	1	・これからの町づくりに対する自分たちの願いを発信する学習の見通しをもつ。		・B4★好奇心（ワークシートの記述）	
11	課題解決に向けた取組やこれからの取組	見通しをもつ	1	・自分たちの願いを発信するために、町づくりの取組をさらに詳しく調べる計画を立てる。		・B1☆見通す力（チェックリスト）
		情報収集	1	・それぞれの課題の解決に向けた住田町の取組を予想する。		・B2☆多面的・多角的に考える力（チェックリスト）
			1	・それぞれの課題の解決に向けた取組や、これからの取組を調べる学習会を計画する。		・B1☆見通す力（チェックリスト）
			2	・役場の方から話を聞く学習会を開き、それぞれの課題の解決に向けた取組やこれからの取組について調べる。		・A ◎地域理解（ワークシートの記述） ・C3★他者受容（チェックリスト）
		実施・改善	3	・それぞれの課題の解決に向けた取組やこれからの取組について分かったことをポートフォリオにまとめる。		・D1☆感じ取る力（ポートフォリオの記述）
			1（本時）	・それぞれの課題の解決に向けた取組のよさや携わっている人の思いを考える。		・B2☆多面的・多角的に考える力（チェックリスト）
		12		1	・それぞれの課題の解決に向けた取組のよさについて、分かったことや考えたことをポートフォリオにまとめる。	

1	これからの住田町への願い		1	・これまでの調査をもとに、これからの町づくりについて考える。		・D2☆創出する力 (ループリック)
		課題設定	1	・住田町のこれからの町づくりについての自分たちの願いを発信する方法を考える。		・C1☆伝え合う力 (ワークシートの記述)
		見直しをもつ 計画する	1	・グループごとに発信に向けての活動内容や役割分担を考え、発信に向けた計画を立てる。		・B1☆見通す力 (ワークシートの記述)
		改善 実施・	5	・自分たちの願いの発信に向けた準備を行う。		・C2☆協同する力 (チェックリスト) ・B5★困難を解決しようとする力 (チェックリスト)
			2	・これからの住田町の町づくりへの自分たちの願いを、地域の方などに発信する。		・B3☆提案・発信する力 (ループリック)
振り返り まとめ	1	・単元の学習活動を振り返り、自分の探究活動を評価する。		・D3★自己肯定感 (振り返りの記述)		

5 本時の指導

(1) 目標

住田町の課題解決に向けた取組やこれからの取組のよさ、携わっている人の思いを考え、町づくりに対する思いを広げることができる。

(2) 評価について

みとる資質能力	項目	支援の手立て
B 2 多面的・多角的に考える力	・調査結果などの根拠に基づいて、取組のよさや携わる人々の思いを考え、ワークシートに書き表している。	・教師との対話や友達のを考えをもとに、住田町の取組のよさや携わっている人の思いについて考えることができるようにする。

(3) 展開

	学習活動・学習内容	※指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 前時の学習の想起 ・本時の学習内容と評価規準を確認する。 2 学習課題の設定 ・学習会で学んだことを想起し、学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">課題解決に向けた取り組みやこれからの町づくりの取り組みのよさを考えよう。</div>	・ポートフォリオを見て、本時は調査結果に基づいて、課題解決に向けた取組やこれからの取組のよさを考えることを確認する。

見通す 5分	<p>3 課題解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに調べてきた住田町の町づくりの課題や課題解決に向けた取組について確認し、それぞれの取組のよさについて考える見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで調べてきた事実に基づいて、それらを関連させながら、町づくりの取組のよさや意義について考えていくことを確認する。
展開 28分	<p>4 課題解決に向けての学び</p> <p>(1) 個人ごとに課題解決に向けた取組やこれからの取組の中から、自分がよいと思ったところを見つけ、そのわけを考える。</p> <p>(2) グループごとに自分がよいと思ったところとそのわけを発表し、考えを交流する。</p> <p>(3) 発表された意見を整理し、取組のよさをグループごとにまとめる。</p> <p>5 学び合い</p> <p>(1) グループごとに取組のよさについて発表する。</p> <p>(2) それぞれのよさについて考えたことや、見比べて気が付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた取組の妥当性を考える。 ・それぞれの取組の共通点について考える。 <p>(3) 携わる人たちの思いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで出された町づくりの取組のよさから、取組に携わっている人たちの思いを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業，農業，観光，子育て支援，情報ネットワークの中から、自分が関心をもった取組を選んで考えることができるようにする。 ・学び合いに向けて、カードに取組のよさやその理由を記入させる。 ・発表時にカードを黒板に掲示し、それをもとに発表できるようにする。 ・取組に込められた思いや願いについて考えを広げさせたい。
まとめ 7分	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書き、その内容を伝え合う。 <p>7 次時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習内容と評価規準の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査結果などの根拠に基づいて、取組のよさや携わる人々の思いを考え、ワークシートに書き表している。 (発言・ワークシート) ・次時は、本時で分かったことをポートフォリオにまとめることと、評価の観点 (D1 感じ取る力) を確認する。